

宮城県白石市「馬牛沼産直センター」 「食の安全」と「地域おこし」への取り組み



国道4号線沿い、馬牛沼のほとりに立つ「馬牛沼産直センター」

産直センターの設立に奔走した白石市斎川の佐藤仲式さん宅を訪問した。センター設立の動機を聞くと「地域では年々若者が少なくなり、高齢者が多くなった。高齢者でも社会貢献ができることを示し、活気ある地域を作りたいかった」と話す。

取材当日、仲式さんは早朝、日の出とともに畑に行ってお盆用に栽培していた花とスイカを採ってきた。



佐藤仲式さん：早朝畑から収穫してきたスイカを洗う



佐藤ミワさん：お盆用の花を1把ずつ丁寧に束ねる

お盆用の花は、奥様のミワさんが1束ずつ手作業で束ねていた。仲式さんは「朝3時に起きて畑に行行って取ってきました。趣味と実益を兼ねた楽しみですね」と話す。傍らでミワさんは「新鮮で良いものを出荷するよう心がけています。自家製の味噌や漬物も人気があるんですよ。買いに来る人に“おいしい”と言って貰えるのが生きがいです」と語る。

地域おこしの一環としてスタートした「馬牛沼産直センター」。その後地域の後継者も入会し、お年寄りとは切磋琢磨して「安全で新鮮な食品を安く提供」する運動が続いている。



午前9時の開店から多くの買い物客が訪れ、生産者と会話しながら買い物をしている